



対話型で皆で滋賀の暮らし方を考える!! slido(オンライン会議システム)を使って参加者が対話に参加できる

部活帰り
にはバス
もう走って
ないし...

免許返したけど、
めっちゃ不便

バスなら自力で
お出かけできるね

SHIGA
SMART
ACCESS
2040s

自分らでも
なんか出来
へんかな

なんで
運行本数
減っちゃうの?

滋賀の公共交通 未来アイデア会議

またまたやります!

あなたのアイデアで
滋賀の公共交通の
未来をつくろう!!

滋賀県では、公共交通ネットワークの維持・活性化を目指し「滋賀地域交通計画」策定に向けた検討を進めています。県民の皆様にも、これからの公共交通について一緒に考えていただき、滋賀のより良い未来に向けたアイデアを共有しましょう!

開催日時：
2025年2月15日(土)

13:00~15:00予定(入場30分前~)

会場：**イオンシネマ草津**(イオンモール草津3F)

- 対面開催(定員300名様)
- オンライン配信(予定)

当日は大型スクリーンに動画などを投影し、お手持ちのスマートフォンなどからアイデアを共有していただく予定です。

ご参加には
事前申込が
必要です
お申込はこちらから



— 対面でご参加の方にもれなく —

イオンシネマギフトを
プレゼント

全国のイオンシネマで
ご利用いただけるギフト券です。

- 映画1作品の鑑賞
- ポップコーン(S)
- ドリンク(S)

※オンライン参加の方はプレゼント対象外です



WEBSITE



X(旧Twitter)



〈主催〉滋賀県地域交通活性化協議会
〈事務局〉滋賀県土木交通部交通戦略課
お問い合わせ:hc00@pref.shiga.lg.jp

— SCHEDULE —

ワークショップ 成果発表	地域交通ワークショップのハイライトをご紹介します 「滋賀が目指す地域交通の姿」の実現に向け、県民・企業・交通事業者・市町等が相互理解を深める為の取り組みとしてワークショップが実施されていたことはご存知でしたか？ ワークショップを通して見えてきた各地域の問題や、各地域として・滋賀県として目指したい地域交通の姿、それを実現するためのアイデアなどをご紹介します。
バスぶら博士の “ちょい足し”小話	公共交通“利+活用”のススメ～滋賀で安心して暮らし続けるために～ 「赤字って言うけれど、企業努力で何とかなるんじゃないの？」 「公共交通なんて、あってもなくても自家用車がある人には関係くない？」 実は、そういうわけでもないんです。 全国各地で公共交通のPRや地域のおでかけ環境を改善するための実践・研究に取り組む「バスぶら博士」が、滋賀に住む私たちひとり一人も、それぞれの立場で、できる範囲で、公共交通を利用したり・活用したりすることの意義をお話します。
意見交換会	WEBシステムを活用した参加者全員での対話 会場参加・オンライン参加問わずWEBシステムから疑問・意見・アイデア等を投稿していただき、パネリストとの対話や、参加者相互の意見交換を実施します。
総括	意見交換の成果の絵図を活用した取りまとめ フォーラムを通して得た参加者の想いや新たな気づきに加え、滋賀県として今後の地域交通をどうしていくかという方向性を、グラレコ*も活用して取りまとめます。 *グラフィックレコーディング：議論の内容やアイデアを、絵図等を用いてリアルタイムにまとめる手法。ミーティングの中から重要な要素を抜き出してビジュアル化することで、議論の要旨をよりわかりやすく共有できるのが特徴。



司会進行
フリーアナウンサー
川端 まゆみ氏

大津市在住
びわ湖放送「しらしがテレビ」水・木曜
担当キャスター



ファシリテーター
バスぶら博士
大野 悠貴氏

全国の交通政策に従事する傍ら、バスを“ちょい足し”していただくをコンセプトに「バスぶら博士」として地域や学校に出向いた講座等も行う。



ワークショップコーディネーター
びわこ学院大学非常勤講師
佐々木 和之氏

湖南市在住
専門は住民行政連繋であり、滋賀地域交通ワークショップにおいてコーディネーターとファシリテーターを担当。



パネリスト
立命館大学 理工学部
塩見 康博教授

滋賀地域交通活性化協議会委員長
円滑・安全・快適かつ環境親和性の高い交通システム実現のための研究に取り組む。



パネリスト
滋賀県知事
三日月 大造

この他にも県職員や地域交通ワークショップの参加者がパネリストとして登壇予定！

— 前回フォーラムの様子 —

